

第 1 6 回 第三小学校地区合同防災訓練実施要項

私たちの住む第三小学校地区では阪神・淡路大震災を教訓として、「自分たちのまちは自分たちで守ろう」を主旨として、この訓練を毎年実施してまいりました。東日本大震災が発生して以来、さらに震災への対応がクローズアップされてまいりました。東日本大震災を受け、第三小学校地区の関係団体が協力して防災対策を進める自主防災組織「第三小学校地区防災対策委員会」が平成24年に発足いたしました。これまでの経験を生かし、地域ぐるみで防災対策を進められようこの委員会は意図しております。幸い、第三小学校地区では、平成11年より第三小学校地区まちづくり協議会（旧上石原まちづくり協議会）を中心として第三小学校地区防災訓練を毎年秋に実施してまいりました。

調布市では平成24年より調布市教育委員会が防災意識の啓発を目的に「調布市防災教育の日」を毎年4月に定め、学校と地域が力を合わせて避難所開設等の防災訓練を推進しております。第14回・15回の第三小学校地区合同防災訓練は「調布市防災教育の日」に合わせて4月に実施してまいりました。しかし、今年度は秋に戻して第16回第三小学校地区合同防災訓練を実施いたします。

突然起こる震災の被害を最小限に食い止める為には「自助・共助」の備えが重要視されております。私たちは日頃から家族で災害時を想定した訓練と「自助」、ご近所や地域で災害を想定した訓練が一番重要となっております「共助」。

今年も合同防災訓練に多くの学校関係者・自治会・地域住民・企業等の参加得て実施いたします。

1, 日時場所 平成26年10月11日（土） 午後1時～午後4時

第三小学校 校庭・体育館

（小雨決行予定、中止の場合は消防第2分団の消防車で広報する。）

2, 参加団体

第三小学校地区内自治会・第三小学校地区内各防災会・第三小学校・第三小学校PTA
第三小学校子ども会・校外対策委員会・学童・ユーフォー・健全育成第三地区委員会
第五中学校・二葉学園・調布市医師会・災害時支援ボランティア・調布市災害防止協会防火女性会の会・東京ガス・東京電力・調布市管工土木協働組合・調布警察署・調布消防署・調布市消防団第2分団・調布市総合防災安全課・調布市生活文化スポーツ部協働推進課・調布市初動体制避難所要員・第三小学校地区まちづくり協議会・その他団体と企業

3, 参加対象 第三小学校地区の児童家族・自治会・近隣の住民・企業他

4, 訓練内容は避難誘導訓練と基礎訓練

◎参加者の訓練会場までと第三小学校全児童の避難訓練（児童の避難訓練を見学）

◎初期消火訓練（D級ポンプ訓練・消火器）

◎応急救護訓練（AED訓練・三角巾等）

◎担架搬送訓練・けむり体験訓練

◎起震車訓練

◎バケツリレー競技訓練（全員又は児童）

◎操法演技（調布市消防団第二分団）

◎警察による訓練

◎ライフライン関係の展示等（東京ガス・東京電力・調布市管工土木協働組合）

ー現在は未確定の部分がありますが当日までに確定ー

- 5, 広報活動・自治会関係は全自治会員に防災訓練実施を知らせるチラシ配布（全戸）。
- ・第三小学校の児童家族には学校を通じて案内チラシを配布。
 - ・新たに参加する自治会等は実行委員会で看板等を準備する。
 - ・訓練当日、消防第2分団の消防車で地域内を防災訓練が開催される旨のPR。
又、一時避難場所が決めている自治会等は一時避難場所看板を事前（2週間）に立て、防災訓練がある旨を知らせる。一時避難場所が決めていない団体等は直接、第三小学校に集合する。

6, タイムスケジュール

○10月10日（金）

午後16時00分 横断幕・炊き出し用釜・本部テント・テーブル・いす等の準備

○10月11日（土）

午前10時00分 役員は第三小学校に集合。本部テント組立等と当日の行動についての打ち合わせ。

10時10分 小学校関係者による児童用炊き出しを開始する。（650名分）

11時00分 本部担当役員を除き、自治会役員は各自治会の一時避難場所へ移動して、参加者の避難者名簿を取りまとめる。

消防第2分団の消防車で地区内を防災訓練が開催される旨のPR活動

12時40分 ○一時避難場所が決まっている自治会・防災会は集合。

- ・上石原第一自治会 旧甲州・吉田駐車場入口
- ・上石原第二自治会 西光寺山門前
- ・上石原第三自治会 五十間道ネクスト駐車場前
- ・上石原第四自治会 ガスト駐車場
- ・上石原2丁目自治会さくら会 二葉学園入口
- ・富士見台団地自治会 会長宅前
- ・みどり会 会長宅前
- ・むつみ会 クリスマス亭横
- ・上石原八幡下自治会 凸凹山公園
- ・西調布タウンハウス自治会 第三小学校
- ・若宮自治会 第三小学校
- ・下石原第一自治会 下石原第二仲よし公園 跡地
- ・下石原第四自治会 下石原第三仲よし公園
- ・下石原 五七会 第三小学校
- ・下石原 西南自治会 会長宅前

○一時避難場所が決めてないその他の団体

- ・集合場所を決めてない自治会等や、その他参加者は直接13時00分までに第三小学校の校庭にへ集合
- ・参加者の代表は避難者名簿に記入後に、防災訓練会場となっている第三小学校に各団体の代表の指揮により移動する。

到着後、本部前に各自治会はプラカードを先頭に整列する。代表者は避難者名簿を本部に提出。

- ・全戸配布チラシ・避難者名簿・日付変更シール等は第二回委員会の会議日に配布

13時00分 避難誘導訓練をしながら校庭に移動した参加団体は、進行係の指揮により校庭南演台の前に集合して到着順に整列 (資料①)

13時05分 第三小学校児童全員が校内放送により避難訓練を開始、校庭南演台の前に集合して学年順に整列

13時10分 一 開会式一 校庭

○開会のあいさつ 委員長)

来賓予定 調布市長・都議会議員・警察署長・調布消防署長

一来賓者欠席時はカット

13時30分 ○訓練内容について説明 (調布消防署)

13時35分 ○説明終了後。

・児童は4年～6年児童は教室に退場、1年～3年児童はその場に残り消防署による訓練に参加する。(移動担当第三小学校 校長先生)

○校庭内外に設置された訓練の種類 (資料②)

・AED訓練・三角巾訓練・小型D級ポンプ・消火器訓練・起震車
煙トンネル体験・調布警察署訓練器具・ライフライン関係展示・その他
・一般参加者は進行係の指揮により、体育館で用意されている「AED訓練」を中心に、会場内の各種訓練に自由参加する。 (資料③)

◎この間児童以外参加者は自由に防災訓練に参加して下さい

訓練と同時進行

給食部員は炊き出しの準備をする。参加者が帰宅する時に給食部員により炊き出し訓練した山菜おこわと飲み物を参加者に配布。

14時15分 ○1年～3年児童は訓練を中止して下校の準備のため教室に移動する。。

14時30分 ○1年～6年児童は下校。児童は校庭の訓練に自由参加して下さい。

14時45分 ○バケツリレー競技による訓練 (全員又は児童) (資料④)

15時00分 ○消防第二分団による操法演技の見学 (資料⑤)

16時00分 ○閉会式は有りません。今回は各団体の指示により自由解散となります。

参加者はお帰りの祭に炊き出し班用意した炊き出しを受け取り自由解散

16時10分 役員等でテント等を撤去・後片付けを行い終了。

(小雨時の対応)

雨の場合は、各一時避難場所から第三小学校までの避難誘導訓練を行い、体育館にて訓練を行う。帰りに給食班が用意した非常用ご飯と乾パン(市より用意出来た時)を配る。

一中止の判断方法一

大雨や自然災害等の場合、当日の朝10時に関係役員で協議して防災訓練を開催するか決める。その結果を、消防第2分団の消防車で午前8時ごろまでに第三小学校地区内を広報してもらう。

今年の合同防災訓練を終えて 委員会としての総評

第三小学校地区合同防災訓練はここ数年（第14回・15回）は「調布市防災教育の日」に合わせて4月の第四土曜日に実施してまいりました。しかし、防災教育の日の防災訓練は市内の小中学校が一斉に防災訓練を行いますので、協力頂いております消防署等に無理が出てまいりました。そこで、今年度は秋に戻して第16回第三小学校地区合同防災訓練を実施させて頂きました。

今年の訓練のメインテーマは「児童と住民がともに参加する防災訓練」でありました。その結果、消防署等協力団体の皆様のご協力を得まして、当日は943名（内児童630名）の参加があり盛大に実施出来ました。しかし、今年の訓練では小学校の児童の参加という新しい試みに挑戦いたしましたので、良い点と反省点も出てまいりました。

良い点は、地域と小学校が一体となった防災訓練というメインテーマは達成できました。第三小学校児童通学区域内の参加自治会数は17団体となり年々増えてまいりました。特に、開会式に児童650名の避難訓練を取り入れた開会式も遅れが心配でしたが、全児童の避難時間が6分以内で整列でき参加者を驚かせました。3年生までの児童が参加した「逃げ遅れ者の教室訓練や消火訓練等」など大変にすばらしい訓練となりました。又、一般参加者は体育館で実施されていたAED訓練や応急救護訓練には多くの人に参加をしていただきました。

反省点の一つ目は、参加団体は増えておりますが自治会を含め一般の参加者が例年になく少なかった事です。この傾向は大きな震災（東日本）から数年たち、防災意識が薄れてきていると思います。このような傾向は過去にもありました。この訓練は阪神淡路大震災を期に始まり、数年は多くの参加者がありましたが、年々防災意識が薄れてしまい参加者が減ってまいりました。しかし、東日本大震災を期に参加者も400名、500名、600名と地域の人々（子どもからお年寄りまで三世代）の参加が増えてまいりました。

今年の参加者の減少は理由はともあれ防災意識が薄れてきた結果だと思えます。この防災訓練の目的は毎年実施することにより、各家庭で防災意識を忘れさせないことです。

反省点の二つ目は、運営上についても幾つかの問題もありました。今年も協力団体の皆様が他の訓練に見られない多くの訓練を用意していただきましたが、進行上の不手際もあり一般参加者が訓練にスムーズに参加出来なかった点が上げられます。

反省点の三つ目は、開催時期の問題です。この訓練の当初は関東大震災の9月1日の実施から始まりましたが、諸般の事情（残暑・交通安全週間中・下石原の祭礼等）で変更しながらこの時期10月の第二土曜日に開催することが多くなりました。（3連休ではありませんでした。）

今年の訓練は午後で開催した結果、当日の小学校は1・2時間目は授業参観日となっており多くの親が来校しておりましたが3・4時間目には帰ってしまいました。防災訓練に親を参加させる取り込みに問題があったと思えます。

その外にも児童が暑さで退場したり、マイクの具合が悪く参加者をうまく誘導出来なかった点など反省点がありました。

委員会としては以上事を参考に、参加者のご意見をふまえて来年も第三小学校地区合同防災訓練を計画したいと思います。